



多可タイムズ

2008.6.1
平成20年 9号

発行:多可町教育委員会
〒679-1134 多可郡多可町中区茂利20
☎0795-32-1250
E-mail shakaikyoku@takacho.jp



おもな内容

- ・町内学校トピックス
 - ①いま学校では ②クラスの日記
 - ③保健室から ④校長先生の手紙
- ・町内の県立学校(多可高等学校)
- ・教育委員会特集
 - ①多可学校応援プロジェクト事業
 - ②多可町放課後子ども広場事業

校では・・・



松井幼稚園

わくわく にこにこ

見るもの、すること、すべてが新しく、『やってみたい!』そんな子どもたちの好奇心をかきたてる“ドキドキ ワクワク”の毎日です。失敗してしまうこともあるけれど、繰り返すうちにしっかりと生活の仕方が身についている子どもたちです。

毎朝、小学生のお兄さんやお姉さんたちと一緒に登園する子どもたち。途中で転んだり雨の日にはうまく傘がさせなくてベタベタになってしまふこともあります。それでも『歩いての登園』はちよっぴり大きくなったような気がしてうれしい子どもたちです。



「給食当番まだかな?」当番の仕事が待ち遠しくて仕方がない様子。当番になった子は重たい食器を運んだり、こぼさないようにおかずを配ったり……。大変だけど、友だちのために何かをしてあげられるので、うれしさいっぱいニコニコ顔です。



杉原谷幼稚園

あかるく なかよく たくましく



自分で好きな遊びを見つけ活動する **きらきらタイム**

クラスタイム

その他に、まつ組とうめ組が一緒に活動する(わくわくタイム)を設けています。ゲームを楽しんだり、リズム遊びやダンスをしたり、園周辺に散歩に出かけ自然に触れたりしています。園庭の草引きなどもしています。集団での約束やルールを守って楽しく友だちと遊んだり、話を静かに聞いたりできるように様々な体験をしています。

わくわく タイム



ジャンケン電車
チャンピオンだれかな!



いっぽんぼし こうちょこちょ



♪なべなべそこぬけ♪



お話を静かに聞いています



この花 なんだろ!



お散歩、楽しいな



いま、学

キッズランド



やっぱり、
だっこがいちばん

笑顔いっぱい

キッズランドやちよは、保育と幼児教育の一元化を目指して開設された施設で、今年も新たに六十三名の子ども達が入園し、今では、0歳～五歳児まで百九十四名で生活しています。

四月のはじめ、特に小さい組では、「お家に帰る!」「いやだ」と、大泣きしていた子ども達が大勢で、毎日ぎやかでした。一ヶ月も過ぎた頃には、どの組にも笑い声と笑顔があふれるようになりました。

おはな、
はいどうぞ



どこいきまひょ



いっぶくしまひょ



こんなちっちゃな子ども達のしぐさに、にんまり微笑んだり、頬擦りしたくなるのは、大人の私達だけでなく、年少、年中、年長の子ども達も同じです。共に生活する中で、思いやりの心が育ちます。これからも、家庭と園とが協力し合って、一人一人に合った保育を進めていきたいと思っています。



ビオトープは中南小のびっくり箱

中町南小学校



最近、休み時間になると、中学年のみんながどつと集まる人気スポットが、南小の誇る「ビオトープ」です。

歓声を上げながら、幅の狭い木の橋を四つんばいで渡る子や、腹ばいになって水面すれすれに顔を近づけて水中生物の生態を観察する子たちで、中庭は大にぎわいです。

理科学者・環境教育に役立つようにと、ライオンズクラブの方々のお世話で、平成十四年に完成して以来、このビオトープは、子どもたちの憩いの場になっています。

暖かくなって、元気が出てきたのは子どもたちだけではありません。ビオトープからは、「メダカ」「ザリガニ」「ヌマエビ」「アメンボ」などの新しい命がどんどん誕生しています。

子どもたちにとってのビオトープとは

「ときどき、わくわくの池」

「宝物(ザリガニ・エビ)がいっぱいかくれている場所」だそうです。

南小ビオトープ。子どもたちの「好奇心の泉」「命のびっくり箱」として、いつまでも活躍してほしいものです。



校では・・・



中町北小学校

異年齢集団で学ぶ
「わんぱく班活動から」

中町北小学校

昔、子どもたちは、村の中で自然にできた集団で群れて遊んでいました。昔の子どもはタフで、昔の遊びもタフだったように思います。しかし、下級生を「救済」するルールも遊びの中にちゃんと用意されていたように思います。



1年生にやさしいまなざし

少子化の影響で兄弟姉妹が少なく、村にも子どもが少なくなっています。加えて昨今の社会情勢が、子どもたちが日が暮れるまで自由に群れて遊べる環境を奪いつつあります。

そのような中で学校では、人為的に異年齢集団を作って活動させる取組が生まれてきました。中北小では、その集団を「わんぱく班」と呼んでいます。

現在、中北小では、毎週木曜日の「わんぱくタイム」や「一年生歓迎集会」、「六年生を送る会」などの児童会活動に「わんぱく班」



1年生歓迎会で



わんぱくタイムの様子

を使っています。また、昔は、登校時が主でしたが、最近では必要にせまられて下校時も行っている集団登下校も、村ごとの異年齢集団による活動です。

異年齢集団・同年齢集団共にメリットとデメリットはありますが、異年齢の集団でこそ学べるものも多くあります。学年を越えた互いを思いやる心、リーダーシップ、上の学年を尊敬する気持ち、我慢する力など、

それらは、これから社会に出た時、子どもたちを支える力となることでしょう。また、そうなることを願っています。

松井小学校

松井小学校交通安全教室

事故に遭わないように楽しく過す



四月二十三日に交通安全教室を行いました。交通安全ルールを守って安全な登下校ができるように、例年入学後できるだけ早い時期に、松井幼稚園と合同で、PTAのご協力をいただ

いて行っています。

当日は、西脇警察署交通課太田係長から、横断歩道の渡り方や自転車の乗り方についてお話を聞き、ビデオを見た後、幼稚園児は右側通行や横断歩道の渡り方など、また、小学生は車間距離や交差点での一旦停止など正しい道路の歩き方や自転車の乗り方について、学年に応じて、運動場のモデルコースや学校周辺の道路を利用



して実習をしました。どの子どもも一生懸命に取り組む、関門での指導や助言に真剣に耳を傾けていました。



毎年行われるこの交通安全教室の実施については、交差点での一旦停止や左右の確認、車間距離の確保など各関門での観察や指導に大変多くの方々協力していただいています。今回も、毎日の登校時に世話になっている西脇警察署松井駐在所の中島さんをはじめ、PTAの役員さんや安全対策部のみなさん、多可町交通安全委員会、加美支部のみなさんなど多数の地域の方々にお世話になりました。本当にありがとうございました。



- ①自分の命を守るために、ルールをしっかり守りましょう。
- ②自転車に乗るときは、必ずヘルメットをかぶりましょう。
- ③自転車で歩道を走るときは、歩行者に気配りをしましょう。



いま、学

八千代西小学校

ようこそ！仲良くしようね



1年生歓迎なかよし遠足

—西谷公園へ—



四月二十五日(金)、児童会主催の「1年生歓迎遠足」を行いました。前日の雨のために延期となっていました。当日は、前日のお天気とは一転、とてもさわやかな、そしてあたたかい絶好の遠足日和となりました。

十時三十分、みんな元気いっぱい、リュックサックを背負って西谷公園へ向けて出発しました。

到着後、早速「1年生歓迎のなかよし集会」のはじまりです。6年生がすべて計画、準備をしてきました。

まずはじめに、1年生の自己紹介とインタビュ。「名前は……です。よろしく願います」とみんなしっかりと自己紹介できました。インタビュでは、好きな色は……好きなテレビ番組は……大きくなったら何になりたい？などの質問にもしっかりと答えられました。



つづいて、6年生が、1年生を迎える心境を寸劇で発表。後半は軽快なBGMにのせてダンスも披露してくれました。短い時間での台本づくり、練習と、6年生の結束

力が光りました。

そして、班対抗ゲーム大会。先生チームも参加。大いに盛り上がりました。

1年生も十分楽しんできました。集まりを終え、なかよし班でお弁当タイム。おやつもいっしょに食べた後、班ごとに、なかよし班遊びをしました。「ケイドロ」「ダルマさんが転んだ」などなど、こちらも6年生のリードで遊びました。

毎年恒例の「隧道くぐり」は、水量が多く、今年は断念。それでも、陽気に誘われ、小川に入ってカニを捕ったり水遊びをしたり。あつという間に楽しい1日は過ぎていきました。



受けつがれる自治の心

八千代中学校 生徒会

八千代中学校の玄関を入るとまず目に飛び込んでくるのが「生徒憲章」です。これは、平成五年に東播磨地区でいち早く「髪型の自由化」に取り組んだ当時の生徒会が、「生徒会の気持ちを残したい。」ということから生まれたものなのです。そしてその気持ちは今も脈々と伝えられてきています。

新しい学年がスタートして、生徒会活動の体制も整ってきました。五月一日に、本年度の生徒会活動の方針や取り組みについて全校生で討議する生徒総会が開かれました。特に平成二十年度スローガンや事業計画など、部会の取り組みについて具体的な説明を部長や副部長が行い、いろいろな質問や意見がでて深まった会となりました。



最後に「よい良い八中を目指して！」

として十項目のことが確認され、全員で校歌を合唱して終わりました。このように八千代中学校では、「八中生による八中生のための生徒会活動」という自治の心がしっかりと受けつがれ、着実な活動を続けています。



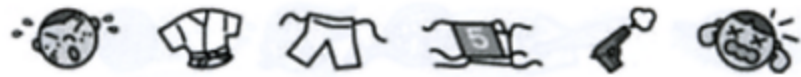
生徒憲章

- ・私たちは、八千代中学生としての自覚と誇りを持ち、自治の基幹に責任を持つ生徒になります。
- ・私たちは、自主的、自律的に行動し、常に奉仕の精神を持った生徒になります。
- ・私たちは、誠実、明徳で礼儀正しく生活します。

八千代中学校生徒会

八千代中学校

の日記



中町幼稚園



げんきいっぱい けやきっこ



「おべんとう、みーんな
たべたで！」

「もうすぐ遠足やな。」
「おやつはもう買ったで！」
と、遠足の日を楽しみに
していた子どもたち。当
日は天気にも恵まれ、思
いっきり遊具で遊んだり、
おいしいお弁当を食べ
たりと、みんな楽しそう
でした。太陽に負けない
くらい、みんなの笑顔が
輝いた一日でした。



「え〜、これ(だんじ)
たべられるん？」

春の遠足

たのしいことがいっぱい！

五月の日のめい

五月晴れのもと、元氣いっ
ぱいの子ともたちの声が園
庭に響きました。この日一
番の盛り上がりは、なんと言っ
てもやっぱり「かけっこ」で
した。みんなゴールをめざして
一生懸命走りまわりました。



「もう1かい、しー！」



だんごむし
みーつけたっ！

様々な自然を感じられる
季節。観察ゲースを片手にい
ろいろなものを見つけたり、
発見したり……。



「みて、みて。あかちゃん
だんごむしやで。」

八千代南小学校

学校あんない(二年生)

一つ学年が大きくなり、はりきっている二年生。学校にある各部屋の紹介
や、その部屋を利用する時、どういったことに気をつけなければいけないか
考え、グループで話し合い、入学してきた一年生に説明していきました。ク
イズなども考えて出すグループもあり、とても頼もしい二年生だと感じまし
た。学校あんないを終えての感想を紹介します。

ほくたちがあんないするよ！
八千代南小学校

今までの校長
先生は、何人で
しょう？



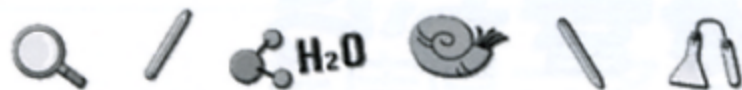
シールをはっ
てあげるよ！

今日は、学校たんけん、一年生
がいっぱいいいたよ。さいしよは三〇
分くらいは来なかったよ。三グル
ープが来ました。一年生にシールをく
ばるのがたいへんでした。一年生が
来ない時は、たいくつでした。一年
生がルールを聞いてくれてうれしか
ったです。たのしかったです。いい思
いになりました。

今目的ホールで
は、くつをぬい
てね！



今日の一・二じかん目に学校あ
んないをしました。一グループ目
がきて、わたしが一ばんによいま
した。さいしよによんだからきん
ちようしました。だけど大きなこ
えでよめていました。おともだち
も大きなこえでよめていました。
一グループの一年生は、しずかに
きいてくれました。そのあとのグ
ループの人たちもみんなしずかに
きいてくれました。一年生がこん
なにじようずにきいてくれるから
かんどうしました。みんなにシー
ルをはってあげました。おもしろ
かったです。またやりたいです。



クラス

みんなで遊んだよ

八千代北小学校

児童の日記から

◆今日、なかよし遠足が、雨で中止になった代わりに体育館で、一年の歓迎集会をしました。

最初は、一年生の自己紹介をしてもらいました。自分の名前と楽しみなことを大きな声で言ってくれたのでとても良かったです。

それから六年生で、「翼をください」を歌いました。すごく緊張してけど、がんばって歌いました。二番のところで、男子二人がリフティングをしていて、「すごいなあ。」と思いながら歌いました。

次にゲームをしました。じゃんけん列車では、一年生のこうし君がチャンピオンになったので「すごいなあ。」と思いました。

猛獣狩りのゲームは、最初に四人



が「猛獣狩りに行こうよ」と言ったら、みんなも「猛獣狩りに行こうよ」と言うのですが、みんなが大きな声で言ってくれたので、ホッとしました。意外に「猛獣狩りに行こうよ」は、一年生の子達が喜んでくれて嬉しかったです。

それから、お弁当を班のみんなでしりとりをしながら食べました。おいしかったし、楽しく食べられました。お弁当を食べ終わって、班で遊びました。私の班は「こおりおに」をして楽しく遊びました。

◆今日はとても嬉しかったことがありました。それは、長休みの事です。私達がいつものように遊んでいると、遊んだことのない一年生の男子と女子三人とも仲良く遊べました。私はそれがとても嬉しかったです。私も一年生の時に六年生の人に遊んでもらっていたのを思い出しました。これから、一年生やほかの学年ともいっぱい楽しく遊びたいです。

新学期スタート

加美中学校

新しい学年を迎えての思いを、日記の中から紹介します。

一年生

今日はドキドキの入学式でした。すぐ横には先生、後ろには先輩、緊張しました。家に帰る時にはクネクネでした。

教室に入ると、机の上には、一年分の教科書が重そうに置いてありました。大変そうだなあと思いました。でも、少し楽しみです。

今日、入学式がありました。小学校と違って、はじめから全然違う空気を感じました。だけど、雰囲気がとてもよく、これからが楽しみです。



二年生

新しい学年にかける思いを、一字で表しました。



「2年生への進級に伴って中身が成長できるように。また、先輩として、後輩を伴って成長できるように。」という思いで、この字「伴」にしました。

今日は、社会で初めて歴史をしました。地理より歴史の方が好きなのでうれしかったです。歴史をしつかり勉強して、誰にも負けないように頑張りたいです。ぼくは、織田信長が好きです。

三年生

新入生歓迎遠足においても、そのリーダー性を十分に発揮してくれました。



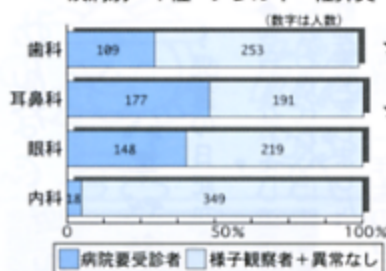
3年生になると、入試もあるので、勉強と部活動の両立は大変だと思うけれど、自分に負けないように頑張りたいと思います。また、言い訳をしない人になりたいです。



保健室から

<健康診断の結果から 19年度統計より>

～疾病別 1位 アレルギー性鼻炎 2位 視力低下 3位 むし歯～



★疾病のトップはアレルギー性鼻炎です。なんと1年男子の半数が罹っています。

★歯科では、1年男子にいい歯の人や治療完了した人が多いです。2、3年男子は、歯石や歯肉炎が多いので心配です。



<楽しみにしている給食タイム>

★クラスみんなで食べる給食タイムは、最高の時間です。食後は、心もリラックスします。完食をめざして、各クラス取り組んでいます。

<保健便り 保護者からの返信より>

- ★「朝ごはんは、心と体のウォーミングアップ」いい言葉ですね。うちは毎朝しっかり食べて学校に行っています。
- ★親子共々忙しい毎日。我が家は夕食をそろって食べるのは、休日しかありません。朝食時だけはと家族そろって食べる様に心がけています。しかし会話の余裕もあまりなく、用意をしながら同時進行の時も。時間と心の余裕を持ちたいです。
- ★規則正しい生活。簡単に思えますが、中学生になると寝る時間がだんだん遅くなり、生活のリズムが狂ってしまいます。家族で話し合いたいです。
- ★私は中学時代に視力が低下し、黒板の字が見えない、テニスのボールも見えにくい、好きな子の顔もよく見えなくなって困りました。(性格も、、、)現代っ子はゲーム・マンガ・パソコン・テレビ・携帯メールと目を酷使しているようです。

不安と緊張のやる気が入り混じっている一学期。私はこの時期が一番好きです。生徒たちの意外な面が見られ、一生懸命頑張っている姿は職員室でも話題になります。自分なりに前に進もうとする気持ちの表れが行動に出てくるのでしょね。成長過程の中で揺れる生徒の姿があります。誰かに甘えたい気持ちと自立したい気持ちの真ん中で揺れる時。最近、それが中学生らしさだと思える様になりました。今年度も、みんなが活躍できることを願って過しています。

学校では、六月までに健康診断を実施し、発育状態を確認し、治療が必要な病気がないかを調べます。「心と体が健康であるように」保護者の方々と職員で見守ってまいります。



校長先生の目



杉原谷小学校

世界に羽ばたけ！

杉小つ子

多可町に住むわたしたちの身の回りにおいても外国の人を目にしたり、海外へ容易に行ったりすることができるようになっています。インターネットの普及で瞬時にして海外にいる人と話することもできるようになっています。国際社会を意識した教育が必要になってきているようです。

そこで本年度の教育目標の一つとして「未来を切り拓き、世界に羽ばたけ！杉小つ子」をあげています。国際社会にあっても、ふるさとを愛し、杉原紙をとおしてふるさとのよさを学び他の人に語れることが望まれます。むしろ国際社会であるからこそ「私は日本人です、ふるさととは多可町です、誇りは杉原紙です」と答えられることが必要です。はつきりと顔が見える日本人になって欲しいと願っています。本校では昭和57年度から特色ある学校づくりの一貫として杉原紙づくりを積み上げてき

ています。とくに、1年生から6年生まで、どの学年においても、紙漉きをカリキュラムに位置づけています。6年生は全工程を原料の楮から紙漉きまでを実施しています。また、地域体験学習として「でんでんグルーブ」などのメンバーに「グストディー」で来ていただき、杉原紙を利用した紙人形作りやちぎり絵、楮の木を使つての木工おもちゃづくりなどを教えていただいています。

このたびの新学習指導要領でも「生きる力」を育成することが大きなねらいとなっています。基礎基本を身につけさせるだけでなく、世界の人々の中でも堂々と日本のことやふるさとのこと、そして杉原紙のことを語れる児童を育てたいと思っています。





兵庫県立多可高等学校

多可郡多可町中区東山553 TEL0795 32 3214

1 校訓 日日新
進取、自主、創造の精神を持ち、日一日新たな気持ちで意欲的に取り組み、未来に向けて力強く生きる。

2 教育方針
「福祉のこころ」を育み、自らを磨き、地域社会に貢献することを通して自己実現を図ろうとする生徒を育てる。



多可高校が育てる「福祉のこころ」

- ・命を大切にし、自分を認め、相手を認める思いやりの心
- ・地域社会を支える共生の心
- ・豊かな福祉社会を築く自発の心

3 教育目標

- ①夢と希望に沿った自己実現を支援する
- ②確かな学力を定着させ、個性や創造性を伸長させる
- ③豊かな人間性や社会性を育むとともに心の教育を推進する
- ④特色ある学校づくり、地域に信頼される学校づくりを進める

～多可高校の活動のひとこま～

1 年生オリエンテーション週間



1 年生は、4 月10日～18日までオリエンテーション週間でした。学校での勉強、集団訓練、古墳探検などの活動とおして新しい仲間づくりをしました。

京 都 遠 足



2、3 年生は4 月に京都に遠足に行きました。その中で3 年生は立命館大学で平和学習を行い、戦争の悲惨さや平和の大切さを学びました。

妊婦体験学習



家庭科の授業で妊婦さんの体験学習をしました。体験をとおして妊婦さんの苦勞を知ることができました。

- ・私たちは「地域のために何ができるか」を考え、多可町内、西脇市内でボランティア活動もしています。
- ・多可高校で私たちと一緒に勉強し、そしてボランティア活動をしませんか。



ホームページ

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~taka-hs/>

新規事業

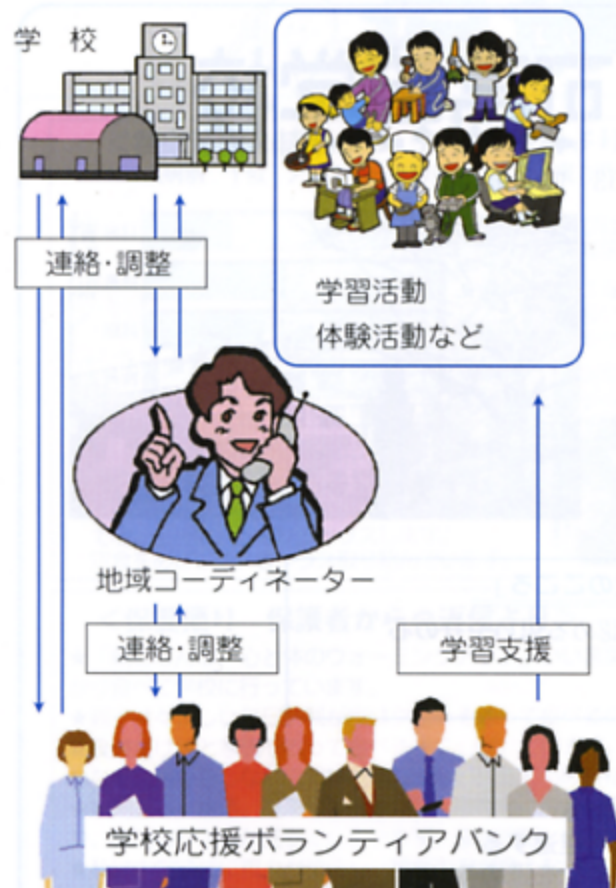
「多可学校応援プロジェクト」始動!

多可町内の小・中学校の教育活動を、地域住民が応援するための体制づくりを目的として、文部科学省からの委託を受け「多可学校応援プロジェクト事業」を実施します。

「多可学校応援プロジェクト事業」は、次の3つのことを目的としています。

- ① 教員の子どもと向き合う時間の拡充
- ② 社会教育で学んだ成果と活かす場の開拓
- ③ 地域の教育力の活性化

本事業の実施にあたって、多可町中央公民館内に学校支援地域本部を設置し、同本部に配置される地域コーディネーターが、「学校応援ボランティアバンク」を作成します。学校の要望によ



※本イラストは、県教委の事業説明資料より抜粋

継続事業

「放課後子ども広場事業」展開中!

て、人材バンクからの人材の紹介と連絡調整を行い、教育活動にいかしていきます。

「学校応援ボランティアバンク」作成にあたっては、各学校における、旧いいき学校応援団の人材に加え、多可町生涯学習人材バンクからの人材、さらには、一般公募による地域住民の方々からの応援もお願いしたいと考えております。学校を、子どもたちを、地域で支える体制づくりを進めて参ります。

多可町教育委員会では、平成19年度より、平日の放課後において、子どもたちの異年齢集団による安全・安心な群れ遊びの場を提供するために、町内7小学校において「放課後子ども広場事業（ひょう）放課後プラン事業」を展開しています。

本事業は、各広場に放課後サポーター（地域ボランティア）を配置して、原則2名体制で子どもたちの見守り活動を行っています。

本年度は子ども課（学童保育）との連携をさらに強化して、多可町の子どもたちのための総合的な放課後対策として、事業の充実を図って参ります。



※ご意見・ご感想をお寄せ下さい

【問い合わせ先】多可町教育委員会社会教育課 FAX: 0795-32-4142 E-mail: shakaikyoiku@takacho.jp